

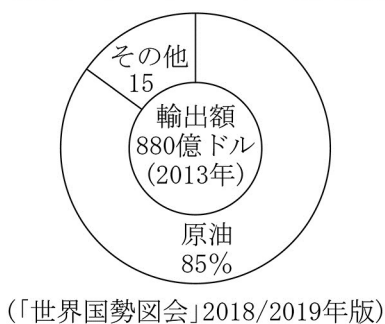
問題1

次の資料4はベネズエラの輸出割合を、資料5は原油の国際価格の推移を表したものである。資料4と資料5に基づいて、ベネズエラの経済の問題点を「国際価格」という言葉を使って書きなさい。

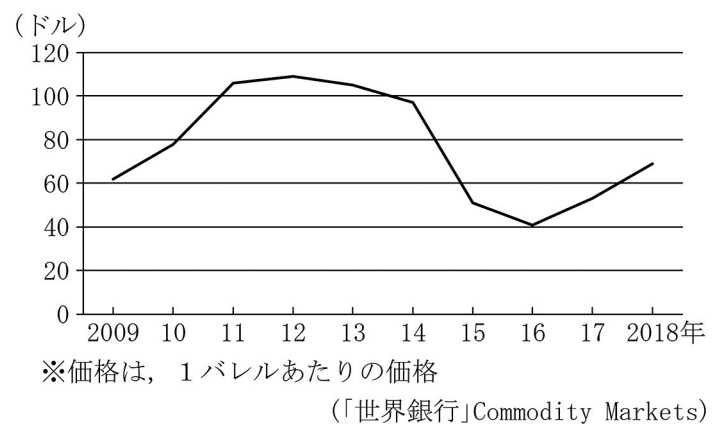
<10/27 中2全九州模試より>

<熊高・済々黌志望者と第二・第一志望者の正答率の差：10.9%>

〔資料4〕ベネズエラの輸出割合



〔資料5〕原油の国際価格の推移



石油の輸出が多い。

石油の国際価格は変動が大きい。

解答例① ✕

国際価格の変動が大きい石油を多く輸出している。

解答例② ✕

石油を多く輸出しており、国際価格の変動が大きくなっている。

解答例③ ○

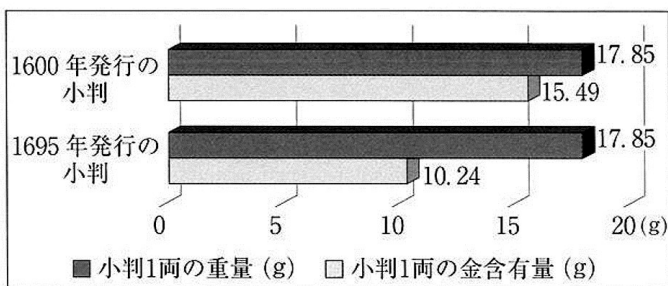
国際価格の変動が大きい石油を多く輸出しており、
経済が安定しない。

問題2

次の資料1は江戸幕府が1600年以来発行してきた小判と、1695年から新しく造りかえた小判の、1両の重量と金含有量を、それぞれ表したグラフである。また、資料2は6代将軍と7代将軍に仕えた新井白石に書かれたものの一部である。小判を作りかえることで幕府の収入が増えた理由を資料1と資料2を関連付けて説明しなさい。

《2019年 熊本県公立高校後期入試問題より》

資料1



(「岩波日本史辞典」江戸幕府金銀銭発行表による)

資料2

先代の将軍様の時代、…(中略)…^{げん}元禄8(1695)年の9月から金貨や銀貨が新たに造りかえられた。それ以来、毎年幕府が得た差額の利益は、総計で約500万両となり、…(中略)…。

(「折りたく柴の記」現代語訳による)

金の含有量が減っている。

**金の含有量が減ったことで、
得られた差額の利益について記載**

解答例① ×

小判の金の含有量を減らしたことで、お金の価値が下がったから。

解答例② ○

小判の金の含有量を減らしたことで、差額の利益が得られたから。

解答例③ ×

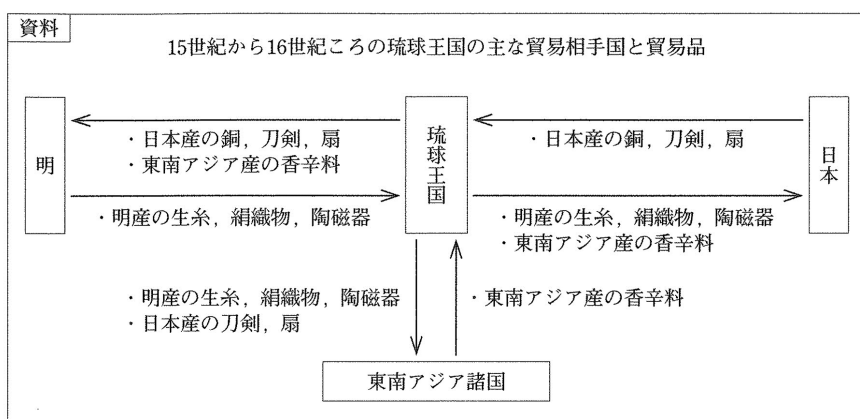
小判の金の含有量を減らしたことで、小判を製造する費用を押さえられたから。

問題3

資料1は15世紀から16世紀の琉球王国の貿易について、資料2は17世紀の日本人在住地を示している。琉球王国では、17世紀の初めごろには15世紀から16世紀のころと比べて貿易が振るわなくなった。その理由を次の資料1と資料2をもとに簡潔に答えなさい。

《2019年 広島県公立高校入試問題より》

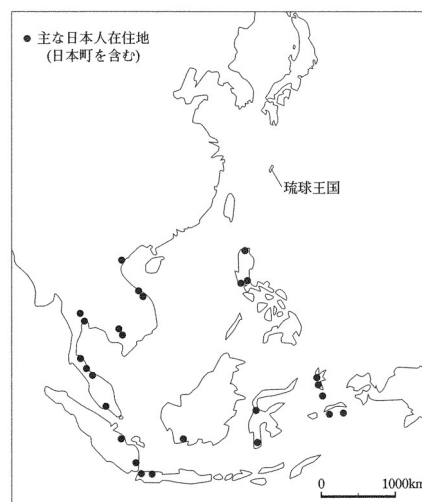
資料1



**15世紀から16世紀にかけて、
日本は琉球王国を仲介役として
東南アジアと貿易を行っている。**

琉球王国→中継貿易

資料2



**17世紀では日本人
在住地が増えた。**

江戸幕府→朱印船貿易

**【考察】 17世紀では、直接貿易が出来るので、中継貿易の
必要性が低くなった。**

模範解答

17世紀にはじまった朱印船貿易を中心に東南アジアとの交流により日本人在住地が増えた。そのため、日本と東南アジアと直接貿易を行いやすくなったので、琉球王国の中継貿易に頼らなくてもよくなったから。